

特別講演

治癒の病理～臨床の疑問に答える～

下野 正基

東京歯科大学名誉教授

Special Lecture “Pathology of Wound Healing”

Masaki Shimono (Professor Emeritus at Tokyo Dental College)

エンド・ペリオ・インプラント治療における治癒のメカニズムについて解説する。具体的には以下のような臨床的疑問に対して、病理学の立場から回答してみたい。①歯髄の治癒能力は高いか？②歯髄への侵害的刺激と象牙質形成の関係は？③再生歯内療法（リバスクラリゼーション）の可能性は？④意図的出血の意義は？⑤ブラキシズムに起因する知覚過敏症のメカニズムは？⑥ドミノ理論とは？⑦肉芽組織とは何か？⑧上皮性付着は結合組織性付着に置き換わるか？⑨長い付着上皮の臨床的意義は何か？⑩創傷治癒（修復）と再生の違いは何か？⑪歯周組織を破壊する因子は力か炎症か？⑫4-META レジンの応用はペリオの治癒にどのような影響を与えるか？⑬骨補填材の役割は何か？⑭インプラント周囲組織と天然歯の歯周組織とはどこが違うのか？⑮インプラント周囲炎ではなぜ井状の骨欠損が起こるのか？⑯インプラント周囲骨に不透過像が現れるのはなぜか？

- 1970年 東京歯科大学卒業
- 1974年 ミラノ大学医学部客員研究員
- 1991年 東京歯科大学教授
- 2000年 IADR Pulp Biology Group 会長
- 2005年 FDI 理事
- 2011年 東京歯科大学名誉教授
- 2012年 日本歯科医学会会長賞受賞